

STAGE 1
Lesson 1 OriHime

スピーチ 人生・生き方/時制

STAGE 1
Lesson 1



READY

Think & Talk ロボットについて、話し合ってみましょう。

1. Have you ever seen any robots around you? If yes, what kind of robots?
2. Do you want robots talking to you? Why?
3. What kind of robots do you need? Why?

Introducing the Topic 線とメアリーはどくやで話しているでしょう。

1. Mary is talking to Ken through OriHime. (T・F)
2. Mary's nickname is OriHime. (T・F)
3. Mary is talking to Ken from her house. (T・F) p.132

教科書 pp.13-20

は趣味の折り紙やゲームに熱中したものの（「オリイ」は折り紙に由来する）、このとき感じた孤独が、「人と、社会とつながりたい」という気持ちが、ロボットの開発へと彼を導く。孤独の解消を自身のミッションとしている。

著書に、『孤独は消せる』（サンマーク出版、2017年）、『サイボーグ時代』（きずな出版、2019年）、『ミライの武器「夢中になれる」を見つける授業』（サンクチュアリ出版、2021年）がある。

〈分身ロボット OriHime〉

吉藤さんが早稲田大学創造理工学部に在学中に開発したロボット。私たちがよく知っているロボットとは異なり、遠く離れた場所においても OriHime を通じて、人と話したり、一緒に勉強したり働いたり、会議に参加したりできる、人型の分身ロボットである。

READY

Think & Talk

〈ねらい〉

ここでは、特定のテーマについてペアまたはグループで意見交換する活動を行う。これによって、中学校までに学んだ既習の語彙や文構造を使う機会となり、本課の活動のためのウォームアップとなる。本課では、身近なロボットに意識を向け、どのようなロボットがあればよいか話し合う。

〈指導上のポイント〉

始める前に、3つの質問の発音と意味を確認して、問いを見ずとも言えるように練習しておくことよ。何度か言っているうちに、それぞれの文の意味も次第に分かってくるだろうし、問いの文を繰り返し言っている間に自分の考えも浮かんでくるだろう。

この活動は、(1)「声に出して話す」ためのウォームアップ、(2)「考える」ことに慣れるためのウォームアップである。唯一の正しい答えはないので、自由に発想して、それをなんとか英語で伝えようとする態度を重視したい。

生徒の習熟度に応じて、ペアまたはグループで見え交換を行う際に、できるだけ一問一答にならない

よう、尋ねて相手に応えてもらったら、それに対して、That's interesting. 「それおもしろいですね」などと何らかの反応を示し、自分も意見や考えを述べるようにして、やり取りが続くように工夫したい。

〈訳例〉

1. あなたはこれまでに、あなたの周囲でロボットを見たことがありますか。見たことがある場合は、それはどんなロボットでしたか。
2. 話しかけてくれるロボットを欲しいと思いますか。また、それはなぜですか。
3. あなたが必要するロボットはどんなものですか。また、それはなぜですか。

〈語彙・文法〉

1. Have you ever seen any robots around you? [これまでの〈経験〉を訪ねる現在完了形の疑問文(教科書 p.17) / ever 「今までに; これまで (に)」〈副詞〉
2. robots talking to you [現在分詞句が名詞 robots を修飾している]

◆やり取りの例

1. Have you ever seen any robots around you? If yes, what kind of robots?

例 1)

A: Have you ever seen any robots around you?

B: Yes. I have seen one at a *sushi* restaurant.

A: Oh, really? What kind of robot was it?

B: It showed us to seats.

A: Wow, that's cool.

〈訳例〉

A: 身近なところでロボットを見たことがありますか。

B: はい。お寿司やさんで見たことがあります。

A: 本当に? どんな種類のロボットでしたか。

B: 座席に案内してくれました。

A: わあ、それはすごい。

例 2)

A: Have you ever seen any robots around you?

B: No, but I have seen one on TV. It was performing an operation.

A: An operation? That's scary. I don't want to have that sort of operation.

B: Me, neither. But I think it'll be common in the near future.

〈訳例〉

A: 身近なところでロボットを見たことがありますか。

B: ないですが、テレビでは見たことがあります。それは手術をしていました。

A: 手術? それは恐ろしい。そんな手術は受けたくありません。

B: 私もです。ですが、近い将来、それが普通になると思います。

〈情報〉手術支援用ロボット

アメリカのインテュイティブ・サージカル社が開発した手術支援用ロボット「ダヴィンチ」が有名である。日本でも2006年に導入されて以来「ダヴィンチ手術」は一般的になってきている。小さな切開部から手術を行うため患者の負担も少なく、手ぶれを制御して繊細な動きが可能であるなどの特徴がある。日本では、2020年に初の国産手術支援ロボット「ヒノトリ」が開発され、実際に運用されている。

例 3)

A: Have you ever seen any robots around you?

B: Yes. I actually have a robot of my own at home.

A: You do? What kind of robot do you have?

B: It cleans my room automatically.

A: Ah. Come to think of it, I have one, too!

〈訳例〉

A: 身近なところでロボットを見たことがありますか。

B: あります。実際に自分のロボットを家に持っています。

A: 持っている? どんなロボットを持っているのですか。

B: それは自動で部屋の掃除をしてくれます。

A: あ〜。考えてみれば、私も持っています。

2. Do you want robots talking to you? Why?
例 1)

A: Do you want robots talking to you?

B: Yes, I like talking to everyone. My family are tired of listening to my stories.

A: So you want to talk a lot with a robot?

B: Yes. Both my family and I will be happy.

本課のねらい

◆表現のターゲット・スキル

スピーチ

◆題材内容

人生・生き方

◆言語材料 (表現のための文法)

時制 (基本時制/未来を表す will, be going to / これまでの経験などを表す現在完了形)

解説

▶ p.13

〈写真〉

分身ロボット OriHime (オリヒメ) とその開発者・吉藤健太郎

〈情報〉〈吉藤健太郎〉

1987年奈良県生まれ。自らをロボットコミュニケーターと称するロボット研究者であり実業家である。株式会社オリイ研究所の代表取締役所長を務める。小学校5年生から中学校2年生までの約3年半、いじめなどもあり不登校を経験する。しばらく

GET

Robots to Connect People

日記帳を見よう

Going Deeper

1 Listen 健とメアリーが OriHime の仕組みについて話をしています。

Points

① What can OriHime do?
② Who invented OriHime?
③ What can we do through OriHime?

Ken: Wow, look at that! What a cute robot! Hi, robot. How are you?

Mary: It is my favorite. It can speak, move its head and wave its arms.

Ken: Who invented it?

Mary: Yoshifuji Kentaro did. We call it OriHime.

Ken: What can you do with it?

Mary: OriHime can do lots of things for us. For example, we can talk to other people, take lessons, attend meetings, or work with others even at home, through OriHime.

Ken: It is a good companion for us. I have wanted a robot like this.

やり取りの表現

① 話しかける

1 Hi, Ken. How are you? (こんにちは。調子、大丈夫ですか?)
2 Hello, Mary. I'm fine. Thank you, and you? (こんにちは。メアリー、調子は元気だよ。前はどうか?)

② 情報を得る

1 I have many things to do while I'm in high school. For example, I'd like to study abroad and enjoy school festivals.
(私は高校時代にやりたいことがたくさんある。例えば、海外留学したり、文化祭を楽しみたい。)

2 I have various hobbies such as bicycle riding, piano and calligraphy.
(私は、例えば自転車乗りやピアノ、書道など、たくさんのお楽しみがある。)

STAGE 1

TASK 各ページのダイアログの内容を精読まで、必要なもの OriHime を、どんなときに、どんなふうに使っているか確かめ、下線を引いて書き、グループで発表発表し合おう。

A: What would you like to do through OriHime?
B: I have many things to do through OriHime. For example, I'd like to take lessons when I'm absent because of an injury so that I can participate in the class and understand well.
A: That's a good idea.

Data 年表から情報を抜き取って、下の①～③の空所に語彙や数字を入れよう。

Points

① 小学 5 年時から中学 3 年生まででどう進化したか?
② 中学 3 年次の進級はどんな時?
③ 大学在学中に行っていたことは?

Short History of Yoshifuji Kentaro

| | |
|------|------------------------------------|
| 1987 | 佐賀県に生まれる |
| 1998 | 不登校になり、折り紙や模型に集中 (小学 5 年生～中学 2 年生) |
| 2001 | 遠征ロボット競技大会で初の大会優勝、グランドチャンピオン大会で準優勝 |
| 2003 | 京都府立王寺工業高等学校、高校でロボット競技を始める |
| 2004 | 東京の専門学校情報科学科のコンピュータ科で電子工学を学ぶ |
| 2005 | 科学技術のオンラインイベント「超」でエンターテインメント賞を受賞 |
| 2007 | 早稲田大学に入学 |
| 2010 | 人と人をつなぐ分身ロボット OriHime を開発 |

① Yoshifuji Kentaro did not go to () for about three years.
② In (), he took part in robotics contests and won prizes.
③ During his college years, he developed a ().

TASK データの内容を精読まで、必要なもの OriHime を作るための、その理由とともに、下線を引いて書き、グループで発表発表し合おう。

A: What kind of robot would you like to invent?
B: I would like to make a robot that can communicate me and give me opinions on different issues. I don't have any brothers or sisters, so I want to talk with one.
A: Great. With a robot, you can talk about your innermost feelings.
● innermost feelings (心の奥)

▶ pp.14-15

GET

Robots to Connect People

(人をつなぐロボット)

Going Deeper

1. Listen

【ねらい】

健とメアリーの対話を聞いて、READY の Introducing the Topic で導入された分身ロボット OriHime の仕組みについて理解し、後の TASK 及び Data で、なぜそのようなロボットを開発しようと思うに至ったかを考える布石としたい。

【指導上のポイント】

対話文 (ダイアログ) を聞く前に Points の 3 つの質問を与え、聞き取りのポイントを明確にする。ここでは、分身ロボットの開発者は誰か、OriHime にできることは何か、OriHime でできることは何かを整理して理解することを目標とする。対話文は、生徒たちの習熟度に応じて、リスニングのみ、文字を見ながらのリスニングなど工夫すればよいだろう。

また、以下に示す、Points ①～③に基づく要約例を参考に、空所補充問題にしたり要約を作成する活動などを通して、ダイアログの内容をまとめるのもよいだろう。そうすることによって、後の TASK も考えやすくなるだろう。

【Points の和訳】

- ① オリヒメができることは何か。
- ② オリヒメを開発したのは誰か。
- ③ オリヒメを通じて私達ができることは何か。

【解答例】

- ① It can speak, move its head and wave its arms.
- ② Yoshifuji Kentaro did.
- ③ We can talk, take lessons, attend meetings, or work even at home.

【対話文訳例】

健：わあ、見て見て。かわいいロボットだね。こんにちは、ロボットさん。ご機嫌いかがですか？

メアリー：これは私のお気に入りなの。しゃべったり、頭や腕を動かしたりできるのよ。

ケン：誰が開発したの？

メアリー：吉藤健太郎さんです。私たちは、「オリヒメ」と呼んでいます。

健：それを使って何ができるの？

メアリー：OriHime は、私たちにいろいろなことをしてくれます。例えば、OriHime を使って、家にも他の人と話したり、授業を受けたり、会議に出席したり、他の人と仕事をしたりすることができます。

健：私たちの良きパートナーだね。こんなロボットが欲しかったんだ。

【要約例】

OriHime can speak, move its head and wave its arms. Yoshifuji Kentaro invented OriHime. We can talk, take lessons, attend meetings, or work from a distance through OriHime. OriHime is like another body of ours or our second self. (39 words)

◆解説

【文法・文構造】

- L3 It is my favorite. [現在の状態を表すときには現在形を用いる] → 「表現のための英文法」A ① (教科書 p.119)
- L5 Who invented it? [過去の動作を表すときには過去形を用いる] → 「表現のための英文法」C ② (教科書 p.119)
- L6 We call it OriHime. [「A を B と呼ぶ」(call+目的語 (A) +補語 (B))。現在の動作を表すときには現在形を用いる。it はすでに登場している a robot を代名詞で表している。この文構造は中学校で既出だが、自由に使えるようにしておきたい]
- L12 I have wanted a robot like this. 「こんなロボットがずっと欲しかったんだ」[これまでこのようなロボットを望んでいたという、過去のある時から現在に至るまでの状態の継続を表すために現在完了形を用いている] → Grammar Focus (教科書 p.17)

【語彙・表現・語法】

- L1 wow 「わあ；すごい」[驚きや喜びを表す間投詞]
- cute 「(顔や行動、性格などが)かわいらしい、愛らしい」[形容詞]
- Hi, robot. [健がロボットに気付いて話しかけている] → 「やりとりの表現」(教科書 p.14)
- L2 How are you? 「お元気ですか；ご機嫌いかがですか；(そちらは) どうですか」[挨拶をして話しかけるときに用いる表現]
- L3 favorite 「お気に入りのもの；大好きなもの」[名詞]
- * my favorite robot/season/book などは「大好きなロボット [季節、本] という意味の形容詞の用法。
- L5 Who invented it? [OriHime を発明した人物を尋ねているが、疑問詞が主語であるため、助動詞 did を用いて *Who did invent it? などとしないことに注意。過去の出来事について尋ねているので、過去形 invented が用いられている]
- L6 Yoshifuji Kentaro did? [Who invented it? に対する応答で、invented it は代動詞 did で代用している]
- L7 What can you do with it? [with は「～を使って」の意味の前置詞]
- L8 lots of things 「多くのこと」[lots of は a lot of に比べるとややカジュアルな表現。いずれも可算名詞、不可算名詞に用いることができる] for example [具体例を挙げるときに用いる表現] → 「やりとりの表現」(教科書 p.14)
- L9 you can talk to other people 「他の人に話しかける [と話す] ことができる」[talk は自動詞なので、目的語を必要とする場合は to などの前置詞が必要であることに注意]
- L10 work with others 「他の人と一緒に仕事をする」[work は「働く、作業する、仕事・勉強をする」という意味の自動詞]
- L11 through OriHime 「オリヒメを使って」[through は手段を表す前置詞]
- L12 a good companion 「よき仲間 [友]」[companion は頻りに一緒に過ごす友達 (a friend) を意味する]

解説と指導編

やり取りの表現

ここでは、他者とやり取りをする際に有用な表現を、機能別に各課で取り上げる。

① 話しかける

・Hi や Hello は英語の挨拶としてお馴染みの表現であるが、「やあ、こんにちは」などと話しかけるときにもよく使われる。親しい間柄では Hey, Ken. などの表現も使われる。Hello は Hi や Hey よりもフォーマルで丁寧な表現で、スピーチの冒頭でも “Hello, everyone. My Name is Kato Ken.” のように使われる。

・How are you? は「お元気ですか」「ご機嫌はいかがですか」という意味のフォーマルな挨拶の表現だが、話しかけるときによく使われる。その他、How are you doing? や What's up?, How's it going?, How have you been? などとも用いられる。これに対する返答には、Hi, how are you? と返事することも多い。I'm fine (, thank you, and you?) の他、調子がいい時は Good, thanks., Great., Pretty good. / Same as usual., / Not bad., Not so good., Pretty bad. などと答えることも多い。複数の人に話しかけるときは、Hi, everyone. や Hi, there などと言う。

・その他、人に話しかけるときの表現として、本題に入る前や質問や依頼をする前に、So, 「(それ)で」を置くこともよくある。例えば、p.15 の TASK の最初の質問をする際に、“So, when and what would you like to do through OriHime?” などとすると、より自然な表現に感じられる。

② 例を挙げる

・for example, for instance, such as など「例示」を表す表現は既に高校生にも馴染みがあると思われるが、抽象的な概念や概要を、具体例を挙げることによってより明確で分かりやすくするための表現であることを確認しておきたい。教科書の例では、1. は many things の例を、2. では various hobbies の例をそれぞれ挙げている。

・for example や for instance は文頭だけでなく、次例のように、文中や文末に置くこともある。

1) On Greenery Day, my town has environmental projects, *for instance*, planting trees. 「緑の日には、私たちの町では、木を植えるというような環境プロジェクトがあります」

2) I have many hobbies. I enjoy seeing movies on weekend, *for example*. 「私にはたくさん趣味があります。例えば、週末には映画鑑賞を楽しみます」

【類似表現】

- ・On Children's Day we eat special foods, *such as* chimaki and kashiwamochi. 「子供の日には、ちまきや柏餅のような特別な食べ物を食べます」
- ・There are many dishes I enjoy, *like* sushi and noodles. 「寿司や麺類など、好きな料理はたくさんあります」
- ・Children play many games during New Year holidays. *Sugoroku is one example*. 「お正月に子供は多くのゲームをします。すごろくはその一例です」

TASK

【ねらい】

Listen で分身ロボット OriHime の仕組みが理解されたので、その特性を活かして、どんなふうに使ってみたいかを具体的に考えて、英語で表現する活動である。

【指導上のポイント】

下線部の前には、I have many things to do through OriHime. とあるので、その具体例を挙げる。B の下線部には、① どのようなときに、どう使いたいのか (教科書の例では、take lessons when I'm absent because of an injury), ② そうすると何ができるか (教科書の例では、so that I can participate in the class and understand well) を考えて補えばよいことと、その表現形式を確認しておきたい。

また、A の下線部には、B の発言内容について応答する表現を補充するが、解答例も参考に、様々な表現を使って応答できるようにしたい。さらに、【解答例】(2), (3) に示したように、さらに一言付け加えて丁寧に応答するよう考えさせてもよいだろう。

【訳例】

A: OriHime を通して、どんなことをしたいですか。
B: OriHime でやってみたいことはたくさんあります。例えば、ケガで休んだときに授業を受けて、直接授業に参加してよく理解したいです。
A: それはいいアイデアですね。

【解答例】

例 1)

B: (I'd like to) participate in club activities through OriHime when my mother is very busy so that I can look after my little sisters instead of my mother.

A: You are such a good son!
(B: 母がとても忙しい時にオリヒメを通してクラブ活動に参加して、母の代わりに妹たちの面倒を見たいと思います/A: 孝行息子だね!)

例 2)

B: (I'd like to) see a doctor when I feel strongly nauseous so that I don't have to go to the hospital myself.

A: I know. Even walking is very difficult when you feel like that.
(B: 吐き気がひどいときは、病院に行かなくてもいいように医師の診察を受けたいです/A: 分かる。そんな体調の時は歩くのさえ困難だね)

例 3)

B: (I'd like to) take lessons when it's raining a lot so that I won't catch a cold because I get all wet.

A: Right. The rain is as cold as ice in winter.
(B: 大雨の日には、ずぶ濡れになって風邪を引かないようにして授業を受けたいです/A: そうだね。冬の雨は水みたいに冷たいからね)

■ 2. Data

【ねらい】

ここでは、吉藤健太郎さんの略歴のデータを基に、吉藤さんが分身ロボット OriHime を開発するに至った背景について理解を深めたい。

【データの解説】

吉藤健太郎氏の略歴を年表にまとめたもの。

【指導上のポイント】

Introducing the Topic や Listen の対話文の内容と合わせて考えてみると、① 吉藤さんが OriHime というロボットを開発しようと思ったきっかけは何だろう (子供の頃に不登校だった経験が、その後のロボット開発につながった)、② 自分の代わりに何かをやってもらうのではなく、分身ロボットを開発しようとしたのはなぜか (吉藤さん自身は、不登校になって最初のうちはゲームなどをして楽しかったが、そのうち社会とつながりたいと思い始めたと同顧している) などと考えさせるとよいだろう。

【Points の英訳】

- ① How did he spend his time from fifth grade to eighth grade?
- ② What happened to him when he was in the eighth grade?
- ③ What did he do while he was in college?

【解答】

- ① school
- ② 2001
- ③ robot

【訳例】

- ① 吉藤健太郎さんは、およそ3年間、学校に行かなかった。
- ② 2001年に、彼はロボットコンテストに参加して、賞を取った。
- ③ 大学時代に、彼はロボットを開発した。

TASK

【ねらい】

吉藤さんが開発してきたロボットを参考に、吉藤健太郎さんは、不登校だった子供の頃に世の中とつながりたいと感じた経験が、分身ロボット OriHime の開発につながったことを基に、① 自分ならどんなロボットを作りたいか、② その理由を話したり書いたりして、意見交換するタスクである。

【訳例】

A: あなたはどんなロボットを発明したいですか。
B: 励ましてくれたり、いろいろな問題で意見を言ってくれるロボットを作りたいです。僕には兄弟がいないから、ロボットと話したいです。
A: いいですね。ロボットがいれば、自分の心の内を話すことができますね。

解説と指導編

【解答例】

例 1)

B: (I would like to make a robot that) can exercise with me. It's hard to stay motivated so it will be great to have the company.

A: That sounds good. You will be happy if it cheers you up.

(B:一緒に運動できるロボットを作りたいです。やる気を維持するのは難しいので、仲間がいればいいと思います/A:いいですね。応援してくれると嬉しいですね)

例 2)

B: (I would like to make a robot that) can patrol the neighborhood all night. I think it could contribute to the safety of our community.

A: That's really a good idea. With that robot, our community would be much safer.

(B:一晩中、近所をパトロールできるロボットを作りたいです。地域の安全に貢献できると思います/A:それは本当にいい考えですね。そのロボットがあれば、私たちのコミュニティがもっと安全になりますね)

例 3)

B: (I would like to make a robot that) can prepare dinner. It could both cook and go shopping, as well as wash up the dishes after dinner. If people had one, they could have more family time.

A: I see. So, in other words, it would reduce the burden of housework.

(B:夕食の準備ができるロボットを作りたいです。それは料理と、買い物の両方ができ、夕食後に食器を洗ったりすることもできます。そのロボットがあれば、人々はもっと家族の時間を過ごすことができます/A:なるほど。言い換えると、家事の負担を軽減するという事です)

【指導上のポイント】

サンプルの対話文では、以下のような論理構成になっている。このように、あらかじめ自分の考えを述べるためのアイデアを出して準備する習慣を付けるとよいだろう。そして、②が①の理由として妥当かどうか考える習慣を付けるとよいだろう。

| | |
|-------------------|--------------------------------|
| ① どんなロボットを作ってみたいか | 励ましてくれたり、いろいろなことに意見を言ってくれるロボット |
| ② その理由 | 兄弟がいらないから、ロボットと話したい |
| ③ その考えに対する反応 | ロボットがいれば、自分の心の内を話すことができる |

①は a robot that ... に続く文を考えて完成させる形式である。どんなロボットを作りたいかを「～することができる」ロボット」という具合に、関係代名詞 that を用いて文を作る。教科書の例や以下の【解答例】に示すように、that [=robot] を主格の関係代名詞として文を考えるのがよいだろう。

②ではその理由を述べることになるが、①で考えたロボットは何のために作ってみようと思ったのか、そのロボットが実現できれば、どんなことができるのか、といったことを考えるヒントにすればよいだろう。

③は、Bさんが述べた考えに対して応答する部分であるが、Great. 「いいね」や That's a good idea. 「いい考えですね」など、一言応答して(→教科書 p.12 の Tool Box 参照)、さらに Bさんが述べた理由を簡潔に表現して賛同などを表すとよいだろう。

The image shows a lesson page for Stage 1, Lesson 1. It is divided into two main columns. The left column contains a 'Talk about It' section with two main activities: '1 Think for Yourself' and '2 Share Your Ideas'. Under '1 Think for Yourself', there are 'Sample Ideas' and 'Your Ideas' sections with sample dialogues. Under '2 Share Your Ideas', there are questions and a 'Tool Box' section. The right column contains a 'Grammar Focus' section with a table of verb forms and a 'TIP' section. The page also includes QR codes and a 'p.12' reference.

▶p.16

【ねらい】
Talk about It

高校生になって最初の課でもあるので、「自分自身の紹介文」を書いて、それを基にペアまたはグループで意見交換する。

■ 1. Think for Yourself
【ねらい】

まず、Sample Ideas を参考に、自分自身の紹介文を書く。ここでは、①名前、②趣味、③高校生活でやってみたいことを書くことで自己紹介する。

【解答例】

例 1) ギター

My name is Sato Yutaka. Please call me Yutaka. My hobby is playing the guitar. Lately I've been practicing "Sakuraga Huruyoruwa" by Aimyon. I want to make new friends and talk about their favorite singers.

【訳例】

私の名前は佐藤豊です。豊と呼んで下さい。私の趣味はギターを弾くことです。最近はいみや

んの「桜が降る夜は」を練習しています。友達を作って、彼らの好きな歌手について話をしたいです。

例 2) 読書

My name is Nishida Yugo. Please call me Yugo. My hobby is reading books, especially non-fiction about the world's problems.

I want to work for world peace in the future, so at high school I want to do volunteer work and learn a lot.

【訳例】

私の名前は西田祐伍です。祐伍と呼んで下さい。私の趣味は特に世界の問題に関するノンフィクションの本を読むことです。将来は世界平和のために働きたいので、高校ではボランティアをして、たくさんのお話を学びたいです。

解説と指導編

例3) 将棋

My name is Kitamura Toyomitsu. Please call me Toyo.

My hobby is playing shogi. I've been practicing it almost every day for ten years.

I want to be a professional shogi player in the future, so I'll practice it harder than before.

【訳例】

私の名前は北村豊充です。トヨと呼んで下さい。
私の趣味は将棋をすることです。10年間ほぼ毎日、将棋の練習をし続けています。

将来はプロ棋士になりたいので、今よりもっと練習を頑張るつもりです。

【指導上のポイント】

Sample Ideasにあるように、①では名前を言うだけでなく、呼んで欲しい愛称や名前の由来(言われ)など、②では音楽が好きなら、どんな音楽やミュージシャンが好きかなど、説明や具体例などをもう一言付け加えて内容を豊かにするよう指導したい。③では「将来、作曲家になるために、音楽を一生懸命学びたい」のように、将来の夢や職業などと結び付けて、高校時代にやりたいことを述べるなど、理由などを述べて伝えるようにしたい。

■ 2. Share Your Ideas

【ねらい】

Think for Yourselfで書いた自己紹介文を基に、教科書の例にならって、対話(ダイアログ)の形式でペアまたはグループでやり取りを行う。

【指導上のポイント】

教科書では、名前を尋ねる部分がないので、次のように始めるとよいだろう。

A: Hi, my name is Kato Ken. Please call me Ken.

B: Hi, my name is Mary Smith. Please call me Mary.

また、対話練習を始める前に、教科書の対話例を全員で発話する練習をし、A(教師)ーB(生徒)、その逆で役割練習しておくことスムーズに進められるだろう。

さらに、Bさんが趣味について述べたことに対して、I like them, too.「私も好きです」など一言応答して、次の質問をしたり、高校生活でやってみ

たいことについて述べた後、That's nice.「素晴らしいですね」などと、Tool Boxを参考に様々な表現を使って応答するようにしたい。

Tool Box

- ・ That's great./That's fantastic./That's amazing!
「それは素晴らしいですね」
- ・ Do your best./Try your best./Go for it./Good luck.
「頑張ってください」

【下線部の置き換え例】

例1) ギター

A: How do you spend your free time?

B: I enjoy playing the guitar. Lately I've been practicing "Sakuraga Huruyoruwa" by Aimyon.

A: That's fantastic. I like that song! How are you going to spend your high school days?

B: I want to make new friends and talk about their favorite singers.

A: That's great.

例2) 読書

A: How do you spend your free time?

B: I enjoy reading books, especially non-fiction about the world's problems.

A: That's amazing. I have never read such books. How are you going to spend your high school days?

B: I want to work for world peace in the future, so at high school I want to do volunteer work and learn a lot.

A: Wow! That sounds worth while.

例3) 将棋

A: How do you spend your free time?

B: I enjoy playing shogi. I've been practicing it almost every day for ten years.

A: Ten years! That's amazing. How are you going to spend your high school days?

B: I want to be a professional shogi player in the future, so I'll practice it even harder than before.

A: Go for it. You can do it.

▶ p.17

■ Grammar Focus: 表現のための文法(時制)

▶ 時制(動詞の形)を選択する

本課では英語の時制の意味と用法に焦点を当てる。明確な時制を持たないとされる日本語を母語とする学習者にとって、英語の時制(テンス)は困難な文法事項の1つである。また、進行や完了を表すアスペクトの形式においても、現在形か現在進行形か、過去形か現在完了形かなど、母語との混同で間違いやすい点がある。

ここでは、「いつの」「どんなこと」を表すのには「どの形式が適切か」といった、意味を形式に乗せる観点から、文法上留意する点を学習する機会としたい。

【A】未来を表す will, be going to

① will ~ 「~だろう」[単純未来:(1)人の意志が関係しない未来の事柄を表し、《かたく/書》で公の告知や業務上の取り決め・予定などについて述べるときはbe going to doより好まれる;(2)通例出来事が生じる時を示す副詞(句)を伴う(WISDOM)] 67

例) It will rain in the afternoon. 「午後雨が降るだろう」(WISDOM)

② will ~ 「~しよう」[意志未来:一人称主語では発話の瞬間に生じた話し手の意志を表し、《話》ではしばしばI'll, we'llのように短縮される(WISDOM)] 68

例) I will not [I won't] see her any more. 「もう彼女とは会うつもりはない」(LUMINOUS)

例) "Have you posted the letter for me?" "No, I will do it this afternoon." 「手紙出してくれたかい」「うん、じゃあ午後に出すよ」(WISDOM) [その場で生じた意図の場合には、be going toは不可で、willのみ(ロイヤル)]

③ will/be going to ~ 「~だろう」[推量] 69

例) Look! It's going to rain tonight. 「ほら、今夜は雨になりそうだ」[It will rain tonight. より主観的](WISDOM)

例) I'm going to [I'll] have a baby in June. 「6月に出産の予定です」(≠I'm having a baby in June.) [I'll have a baby. は「赤ちゃんを産もう」といった意識的決心を表し「産まれる」事実を述べているわけではない](WISDOM)

④ be going to ~ [意図・計画] 70

例) What are you going to do when you retire? 「退職したらどうするつもりですか」(WISDOM)

例) I was [was never] going to be an athlete. 「私はスポーツ選手になるつもりだった[つもりは全然なかった]」[過去形の肯定文ではその決心が実現されなかったことを暗示](WISDOM)

【参考】〈未来の意図や予定の表し方〉(WISDOM)

(1) be going to do はすでに決定した予定を表すが、それほど確実性は高くなくてもよく、比較的先のことにも使える。進行形のbe doingは心理的または実質的にすでに準備段階に入っている予定に用いる。そのため、予定が実現されなかったことを言い添える場合はbe going to doの方が普通。

▶ They were going to get [be] married in June, but they couldn't. 「彼らは6月に結婚するつもりだったができなかった」

(2) will を意図や予定の意味で用いるのは客観的でかたい言い方。特に《書》で好まれる。

▶ The meeting will take place on May 10. ≡ 《よりくだけて》We are going to have a meeting on May 10. 「会議は5月10日に開催の予定です」

解説と指導編

例2) ベトナム

No, I have never been abroad. I want to go to Vietnam to try Vietnamese food like *pho* someday. (いいえ、海外に行ったことはありません。いつかベトナムに行って、フォーなどのベトナム料理を堪能したいです)

例3) スペイン

No, I have never been abroad. I want to go to Spain to take dance lessons someday. (いいえ、海外に行ったことはありません。いつかスペインに行って、ダンスのレッスンを受けてみたいです)

[A]

例1) That would be a great experience.

(素晴らしい経験になりそうですね)

例2) That sounds delicious. (おいしそうですね)

例3) That sounds a lot of fun.

(とても楽しそうですね)

【指導上のポイント】

質問に対して、単に Yes/No と答えて終わりにせず、何をどのように言えばやり取りが成立するのかを意識させたい。海外旅行に行ったことがある場合は、1) のように、どこに行ったのか、誰と行ったのかなどを述べ、さらに、そこでどんなことをしたのかを付け加えるるとよいだろう。

一方、海外旅行に行ったことがない場合でも、No (, I haven't). などと言って終わらず、どこに行ってみたか、そこで何をしてみたいかなどを述べるとよい。さらに、それに対して、すでに GET で学習した表現を使って応答するようにしたい。

自分の考えがまとまったら、ペアまたはグループで、何も見ずにやり取りするとよいだろう。

●One Point

【解答】

watched

[教科書巻末付録①に所収 (p.120)]

【解説】

現在完了形の時制は「現在」なので、a few years ago のような過去を示す語句とは両立しない。「～したことがある」という日本語に引きずられて完了形を選択してはならない。

例) My cousin *came* [^has come] back from Africa *yesterday*. 「昨日、いとこがアフリカから帰ってきた」(ロイヤル)

The screenshot shows a lesson page for 'My Dream'. It includes a listening section with a QR code and a sample speech. The sample speech is about a student who invented a wheelchair. The listening section has three parts: 1. Listen & Take Notes, 2. Listen for Details, and 3. Organizing. The Organizing section has a table for notes. The speaking section has a table for a presentation. The table has columns for 'Hello, My name is...', 'Today I'm going to make a speech about my dream.', 'My dream is to... in the future.', and 'I have been interested in... since I was a child. I want to...'. The speaking section has a table for a presentation. The table has columns for 'I will do my best to realize my dream.' and 'Thank you for listening.'.

▶ pp.18-19

USE
My Dream (私の夢)

【ねらい】

本課ではスピーチを行う。スピーチは聞いたり読んだりしたことを単にまとめて報告するのではなく、あるテーマについての自分の考えや意見などをまとめて発表する活動である。思っていることを思い付いた順に話すのではなく、自分の主張を明確にし、その主張と関連する根拠や例を挙げながら、説得力のある話を展開する必要がある。この課では、その基本的な型を学び、「将来の夢」についてのスピーチを行う。

A Sample Speech

■ 1. Listen & Take Notes

【ねらい】

吉藤さんのスピーチを聞いて、要点を理解することを目標とする。

【解答例】

| | |
|----------------|--------------------------|
| ① 子供の頃、吉藤さんは…? | 3年ほど不登校の時期があった |
| ② その時に感じたことは? | とても寂しい思いをした |
| ③ それを高校時代か? | 好きなことに集中した(新しいタイプの椅子を発明) |
| ④ 吉藤さんの今の夢は? | 孤独な人に役立つものを作る |

【指導上のポイント】

聞き取るべき上記の4つのポイントを意識して何度か聞かせるとよいだろう。メモは日本語でもよいし、英語でもよい。教科書を閉じてメモを取るのがよいが、習熟度によっては、Listen for Detailsのスク립トを見ながら何度か聞かせてもよいだろう。メモを取ったら、ペアやグループでお互いにその内容をチェックし合う。

解説と指導編

■ 2. Listen for Details

【ねらい】

次に、もう一度音声を聞いて空所を埋め、その上で、スピーチがどう構成され展開しているかを理解する。

【解答】

- ① teenager ② lonely ③ contests

【訳例】

① こんにちは。私の名前は吉藤健太朗です。今日は、私が10代だった頃にしたことについてお話しします。② 私は子供の頃、3年間ほど学校に行けませんでした。その頃はとても孤独な思いをしました。高校では、好きなことに集中してその困難を乗り越えました。新しいタイプの車椅子を発明することに成功し、いくつかのコンテストで賞を獲得しました。私の目標は、孤独な人に役立つものを作ることです。③ 私はそれ以来、この目的のために働いています。ご清聴、ありがとうございました。

【文法・文構造】

1.1 I'm going to tell you about ... [これからの意図や計画を表して「～するつもりだ」というときには〈be going to+動詞の原形〉で表す] → Grammar Focus (教科書 p.17)

1.9 I have been working for this purpose ever since. [現在までの動作の継続を表すときには現在完了進行形を用いる] → Grammar Focus (教科書 p.17)

【解説】

スピーチは、① Introduction (始めに)、② Body (本体)、③ Conclusion (終わりに)の3つに大別される。

① Introduction (始めに)では、通例、挨拶、自己紹介、スピーチのテーマなどについて述べる。挨拶は Good afternoon, everyone. 「皆さん、こんにちは」などでもよいが、自己紹介は自分の名前を述べるだけでなく、Let me introduce myself. 「自己紹介させていただきます」と言って、やや詳しく述べることもある。スピーチの冒頭で、これから話すテーマを明確に述べることを忘れないようにしたい。

② Body (本体)は、スピーチの内容によって様々な展開の仕方があり得るが、ここでは Listen & Take Notes でまとめたように、時系列で出来事や思いが述べられるという流れで構成されていることを意識させたい。子供の頃に不登校だった時に感じた寂しさが、孤独を解消することに役立つロボットの開発へとつながって行ったという運命的な因果関係にも注目させたい。

③ Conclusion (終わりに)は、スピーチの締めくくりとして、要点や主張を簡潔にまとめて、挨拶をする。ここでは I have been working for this purpose ever since. 「それ以来ずっと (ever since)、孤独な人に役立つものを作るという目標 (this purpose) のために努力し続けている [work = to spend time and effort doing something (LDCE)]」と述べている。過去のある時点から現在もなおその動作が続いていることを表すために、現在完了進行形を用いている。

【指導上のポイント】

Listen & Take Notes でスピーチの概要は理解しているので、もう一度聞いて、空所を補充し、答え合わせをした後、スピーチの構成・展開 (上記解説参照)を確認し、次のような英語表現について発話練習などを行うと、実際にスピーチを行う際に役立つだろう。

| | | |
|--------------|--------------------|--|
| 最初の挨拶 | こんにちは。 | Hello./ Good morning, everyone./ Good afternoon. |
| 名前を言う | 私の名前は～です。 | My name is ~. |
| スピーチのテーマを伝える | 今日は、私は～についてお話しします。 | Today, I'm going to tell you about ~. |
| 夢や目標を伝える | 私の夢は～することです。 | My dream is to ~. |
| | 私の目標は～することです。 | My aim is to ~. |
| 終わりの挨拶 | ご清聴、ありがとうございました。 | Thank you for listening. |

【その他の表現】

その他、以下のような表現も発話練習しておく、今後の表現活動に有益であろう。

| | |
|-------------------|--|
| 私がしたこと | something I did |
| 私が10代の頃 | when I was a teenager |
| 学校に行くことができなかった | couldn't go to school |
| とても寂しく感じる | feel very lonely |
| 当時 (は) | in those days |
| 高校では | in high school |
| そうした困難を乗り越える | go through those difficulties |
| 好きなことに専念することによって | by concentrating on my favorite things |
| ～に成功する | succeed in ~ |
| 新しいタイプの車椅子を発明すること | inventing a new type of wheelchair |
| 賞を獲得する | win prizes |
| いくつかのコンテストで | in several contests |
| 何か役に立つもの | something useful |
| 孤独な人たちにとって | for lonely people |

▶ p.19

■ B Presenting Your Ideas

■ 1. Generating Ideas

【ねらい】

Sample Speech で学んだことを基に、生徒たちが「将来の夢」を述べるスピーチを行う。まず、Generating Ideas では、テーマについてのブレインストーミングを行い、アイデアを書き出してみることで、自分の考えを明確にしたい。なお、語彙・表現リスト (教科書 pp. 143-144) なども積極的に活用して、自分の夢について考えさせたい。

【解答例】

【例 1】

| | |
|-----------|--|
| ① 自分の将来の夢 | a PE teacher |
| ② 考え・理由など | a lot of different sports / teach children the fun of sports |
| ③ まとめ | study physical education at university |

【例 2】

| | |
|-----------|---|
| ① 自分の将来の夢 | a Japanese chef |
| ② 考え・理由など | cooking / popular all over the world / let people know how delicious Japanese food is |
| ③ まとめ | the Michelin Guide |

【例 3】

| | |
|-----------|--|
| ① 自分の将来の夢 | a computer programmer |
| ② 考え・理由など | computer games / language barrier / translator |
| ③ まとめ | study programming |

【指導上のポイント】

② 考え・理由などは、なぜそのような夢を持つようになったのか、(1)これまでの体験 (出来事やそのとき感じたことなど) を振り返って、その理由などを考えるようにさせたい。また、(2)その夢を実現することによって、どんなことをしたいと思うのかを考えさせたい。

なお、メモは単語や表現レベルで行うこととし、それは日本語でもよいし英語でもよい。この時点で、英語でどう表現するのかを調べておいてもよいだろう。

解説と指導編

STAGE 1 / Lesson 1

■ 2. Organizing

【ねらい】

Generating Ideas でメモしたことを基に、その内容がうまく表現されるように、英語で下線部を補う形でスピーチ原稿を作る。

【解答例】

【例 1】

① Introduction

Hello. My name is Sato Ken.
Today I'm going to make a speech about my dream.

② Body

My dream is to be a PE teacher in the future.
I have been interested in a lot of different sports since I was a child.
I want to teach students the fun of sports.

③ Conclusion

(I hope to study physical education at university.)
I will do my best to realize my dream.
Thank you for listening.

【訳例】

①こんにちは。私の名前は佐藤健です。今日は、私の夢についてスピーチしたいと思います。②私の夢は、将来、体育の先生になることです。私は子供の頃からいろいろなスポーツに興味を持っています。子供達にスポーツの楽しさを教えたいと思います。③(大学では体育の勉強をしたいと思っています。)自分の夢を実現するために頑張ります。ご清聴、ありがとうございました。

【例 2】

① Introduction

Hello. My name is Takagi Yuri.
Today I'm going to make a speech about my dream.

② Body

My dream is to be a Japanese chef in the future.
I have been interested in cooking since I was a child. (Japanese food is popular all over the world.)
I want to let people know how delicious Japanese food is.

③ Conclusion

(I want to own a restaurant to be on the Michelin Guide in the future.)
I will do my best to realize my dream.
Thank you for listening.

【訳例】

①こんにちは。私の名前は高木由里です。今日は私の夢についてのスピーチをしたいと思います。②私の夢は、将来、日本料理のシェフになることです。私は子供の頃からずっと料理に興味があります。(日本食は世界中で人気があります。)日本料理がいかに美味しいかを伝えたいです。③(私は将来、ミシュランガイドに載るようなお店を持ちたいと思っています。)夢を実現するために頑張ります。ご清聴、ありがとうございました。

【例 3】

① Introduction

Hello. My name is Kinoshita Hideki.
Today I'm going to make a speech about my dream.

② Body

My dream is to be a computer programmer in the future.
I have been interested in computer games since I was a child. (The language barrier should be removed to bring about world peace.)
I want to develop a great translator and remove the (language) barrier.

③ Conclusion

(At university I would like to study programming.)
I will do my best to realize my dream.
Thank you for listening.

【訳例】

①こんにちは。私の名前は木下秀樹です。今日は私の夢についてのスピーチをしたいと思います。②私の夢は、将来、コンピューター・プログラマーになることです。私は子供の頃からコンピューター・ゲームに興味がありました。(世界平和のためには、言葉の壁をなくすべきだと思っています。)優れた翻訳機を開発して、その壁を取り除きたいと思っています。③(大学ではプログラミングを学びたいと思います。)自分の夢を実現するために頑張ります。ご清聴、ありがとうございました。

【指導上のポイント】

ここでは下線部を補う形にしているが、Listen for Details の解説で述べたように、①に自己紹介を補ったり、②では When I was a child の代わりに、When I was eleven years old のように時期を特定したり、解答例()で示したような一文をさらに加えたりしてアレンジすることも積極的に認めてよいだろう。

■ 3. Speaking

【ねらい】

Organizing で作成したスピーチ原稿を基に、実際にスピーチを行う。様々な表現を使ったり、声の大きさや、分かりやすく伝えるといった点にも留意したい。

【指導上のポイント】

(1) 指導のステップ

原稿を見ずにスピーチができるよう、次のようなステップを踏むとよいだろう。

- ① 作成したスピーチ原稿をまず個人で、次いでペアでチェックし合い、必要に応じて修正する。
- ② 作成したスピーチ原稿を各自で声に出してすらすら言えるように練習する。ただし、人に語り掛けるように、そして相手に伝わるように言うよう心掛けたい。
- ③ 要点を、以下のように英語で箇条書きにして整理しておく。

| | |
|------------|---|
| ① My dream | <input type="checkbox"/> a PE teacher |
| ② Reasons | <input type="checkbox"/> a lot of different sports <input type="checkbox"/> teach students the fun of sports |
| ③ Closing | <input type="checkbox"/> study physical education at university |

④ Organizing で用いられている表現(下線部以外の表現)を口頭で練習する。

- ・ Hello. My name is ...
- ・ Today, I'm going to make a speech about my dream.
- ・

⑤ ③のメモを見ながら、原稿は見ずに、口頭練習する。

⑥ ある程度言えるようになったら、グループでスピーチを行う。そのとき、発表を聞きながらメモを取る。

⑦ 一方的に話して終わりにせず、聞いて分からなかったところや、もう少し詳しく聞いてみたいところなどを英語で質問し、やり取りする。

解説と指導編

(2) 言いたいことが伝わるような工夫

どうすれば自分が言いたいことが相手に伝わるか考えさせる。声の大きさ、大事なところを強調する(声を大きく、ゆっくり、はっきりと言う)、分かりやすい理由や具体例を挙げる、などに留意してスピーチを行うとよいだろう。

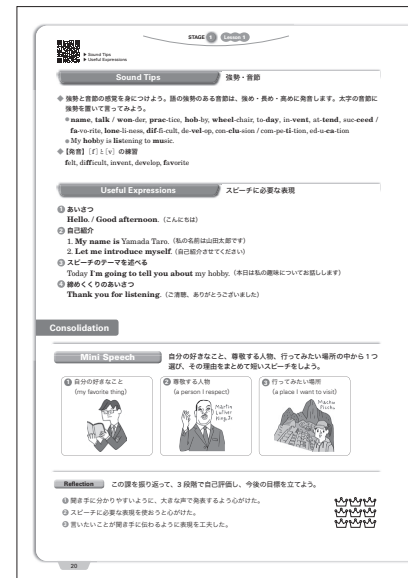
(3) 発表を聞いてメモを取る

比較的短いスピーチなので、必ずしもメモを取る必要はないが、何人かのスピーチを聞く場合は、以下のようなグリッドを用意しておいて、メモを取らせるとよいだろう。コメント欄には、(4)で述べる質問や発表に対する感想を書くともよいだろう。

| 発表者名 | A | B | C |
|-------|-----|-----|-----|
| | () | () | () |
| 将来の夢 | | | |
| 考えや理由 | | | |
| まとめ | | | |
| コメント | | | |

(4) 発表を聞いて分からなかったことなどを質問する

教科書の例にあるように、よく理解できなかったところや聞き逃してしまったこと、あるいはもっと詳しく聞きたいことなどについて積極的に質問するよう促したい。



▶p.20

■ Sound Tips 強勢・音節
【ねらい】

ここでは、発話するとき要注意すべき音声のポイントを示している。どの段階で扱ってもよいが、例えばスピーチを行う USE の Speaking の前に練習しておくともよいだろう。口頭で発表する際には、必ず調音 (articulation) する必要がある、個々の発音だけでなく、発話の意図に応じてリズムやイントネーションにも留意する必要がある。本課では、語の強勢 (stress) と音節 (syllable) の関係、[f], [v] の発音を取り上げる。

◆強勢・音節

たとえば wonder という語を発音すると、/wɑndər/ のように 2 つの部分に区切られているように感じられるが、こうした母音を中心とした音のかたまりを「音節」と呼んでいる。wonder は 2 つの音節からなる語で、won の部分を der に比べて際立たせて発音するが、これを won に「強勢が置かれる」と言う。複数の音節から成る語は、いずれかの音節に強勢が置かれ、それ以外の音節は弱く発音される。

name, talk のような 1 音節語は単独で発音される場合には、常に第 1 強勢が置かれる。2 音節語には、won-der のような〈強弱型〉、to-day のような〈弱強型〉がある。3 音節語は、fa-vo-rite のように最初の音節に強勢が置かれる語、de-vel-op のように第 2 音節に強勢が置かれる語の他、教科書には挙がっていないが、un-der-stand のように第 3 音節に強勢が置かれる語がある。

【指導上のポイント】

いろいろな単語を聞かせて、その語がいくつに区切られているかを考えさせるとよいだろう。あるいは、その語の中にいくつ母音があるかを意識させるのもよい。日本語に引きずられて余計な母音を入れて発音していると、母音が多くあるように感じられるだろう。このような音節感覚を身に付けることがまず肝要である。その上で、強勢がどの音節に置かれるか、声に出して練習するとよい。

◆発音

子音字の発音 [f], [v] は唇歯摩擦音 (Labiodental fricative) と呼ばれ、いずれも下唇と上歯で隙間を作って息を吹き込んで出す音である。[f] はその無声音、[v] は有声音である。日本語にはない音であるので注意と練習が必要な発音である。

【指導上のポイント】

[f] は、上の歯に下唇の内側を強く当て、その隙間から無理やり息を「フー」と出すようにする。[v] は、下唇に振動を感じるくらいに、さらに強く息を出す。また、日本語の「フ」(「ふとん、フェーストフード、スマートフォンなど)、「ブ」(vote と「ボート」、have と「ハブ」など)の音の出し方とは異なることを意識させるのもよいだろう。

■ Useful Expressions
【ねらい】

スピーチに必要な表現のうち、スピーチを展開するのに必須の表現を学ぶ。

【解説】

① あいさつ

Hello, there. や Hello, everyone. などの表現もよく使われる。あらたまった場面では、Good afternoon, ladies and gentleman. など言うこともあ

解説と指導編

STAGE 1 / Lesson 1

るが、性の中立性に対する意識が高まり、ニューヨークやロンドンの地下鉄やバスのアナウンスでは、passengers (乗客の皆様) や everyone (皆様) などの表現を使うような動きも見られる。

なお、hi「やあ、こんにちは」は、「親しい者の間で用いられる hello よりもくだけた言い方」(LUMINOUS) である。hello, hi は「親しい間柄で特に名 (first name) とともによく用い、1日中いつでも使える [Hi! Tom [×Mr. Brown].]。Good morning は午後1時ごろまで、Good afternoon はそれから日没までに用い、もう少し改まった感じ。Good day は今はまれ」(WISDOM)

② 自己紹介

スピーチの際に自分の名前を名乗るときは、I'm Yamada Taro. とは通例、言わない。また、当然のことであるが、名前の部分が明確に伝わるように言うことが肝要である。講演などの場合は、司会者 (chairperson) がスピーカーを紹介してくれることが多いが、簡単に自己紹介することにも慣れておきたい。

③ スピーチのテーマを述べる

テーマを冒頭で明確に述べることは重要であることを押さえておきたい。Today I'd like to talk about ... や Let me tell you about ... などの表現もある。

④ 締めくくりのあいさつ

単に Thank you. でもよい。Thank you for your time. などとも言う。日本語では「以上です」と言うことがあるが、英語では That's all. とやってスピーチを終えることはないことに注意したい。

■ Consolidation

【ねらい】

Lesson 1 のまとめとして、①自分の好きなこと (my favorite thing)、②尊敬する人物 (a person I respect)、③行ってみたい場所 (a place I want to visit) のうちから1つ選んで、Mini Speech を行う。

【解答例】

① 自分の好きなこと (my favorite thing)

例 1) 読書

Hello. My name is Tanaka Kenji. Today I'm going to make a speech about my favorite thing. It is to read books. When I was a child, I often went to the library and read a lot of books. I am very excited when I get new knowledge by reading books. I will read a lot of books in my high school life. Thank you for listening.

(こんにちは。私の名前は田中健二です。今日は、私の好きなことについてスピーチをします。それは本を読むことです。子供の頃、よく図書館に行って、たくさんの本を読みました。本を読んで新しい知識を得ると、とてもワクワクします。高校生活でもたくさんの本を読みたいと思います。ご清聴、ありがとうございました)

例 2) テニス

Hello. My name is Sato Yuko. Today I'm going to make a speech about my favorite thing. It is playing tennis. When I was a child, I started playing tennis with my brother. I am very happy when I get better at tennis. I'm going to join the tennis club in this school and keep practicing. Thank you for listening.

(こんにちは。私の名前は佐藤優子です。今日は、私の好きなことについてスピーチをします。それはテニスをすることです。子供の頃、兄と一緒にテニスを始めました。テニスが上達すると、とても嬉しいです。私はこの学校のテニス部に入って練習を続けるつもりです。ご清聴、ありがとうございました)

例 3) ピアノ

Hello. My name is Yamamoto Ichiro. Today I'm going to make a speech about my favorite thing. It is playing the piano. When I was a child, my mother bought me a piano and we played it together. I can relax when I play my favorite songs. I want to perform at the school festival. Thank you for listening.

(こんにちは。私の名前は山本一郎です。今日は、私の好きなことについてスピーチをします。それはピアノを弾くことです。子供の頃、母がピアノを買ってくれて、一緒に弾きました。自分の好きな曲を弾くとリラックスできます。文化祭で演奏してみたいです。ご清聴、ありがとうございました)

② 尊敬する人物 (a person I respect)

例 1) 中村哲

Hello. My name is Yamamoto Yuki. Today, I'm going to tell you about a person I respect, Dr. Nakamura Tetsu. He was a doctor who helped the people of Afghanistan. He worked very hard for more than 30 years and brought water to people in Afghanistan. I respect him because he never gave up and helped so many people. I will also never give up on what I want to do in my high school days. Thank you for listening.

(こんにちは。山本優希です。今日は僕が尊敬する人、中村哲医師についてお話します。彼はアフガニスタンの人々を助けた医師でした。彼は30年以上にわたって懸命に働き、アフガニスタンの人々に水をもたらしました。私が中村医師を尊敬しているのは決してあきらめず多くの人を助けたからです。私も自分が高校で頑張りたいことをあきらめません。ご清聴、ありがとうございました)

例 2) トム・クルーズ

Hello. My name is Tanaka Yu. Today, I would like to talk about the person I respect, Tom Cruise. He is a very popular American action movie star. He always does stunts at the risk of his own life. In the movie "Mission Impossible," for example, he did all the stunts by himself. He believes he has to do everything to make a good scene. When I play sports or study, I will do my best, like him. Thank you very much for listening.

(こんにちは。田中佑です。僕が尊敬する人、トム・クルーズについてお話します。トム・クルーズはアメリカのアクション映画スターです。彼はいつも自分の人生を賭けてスタントを自分でしています。例えば映画『ミッション・インポッシブル』では、彼が全てスタントを一人でしています。彼は全てを彼自身が演じなければ、いいシーンができないと信じています。僕も彼のようにスポーツや勉強でベストを尽くします。ご清聴、ありがとうございました)

例 3) 大谷翔平

Hello. My name is Inaoka Ken. Today, I want to talk about a person I respect, Ohtani Shohei. He is a Japanese professional baseball player who is now playing in the Major Leagues. Surprisingly, he is playing as both a pitcher and a batter. He has even been dubbed "Japan's Babe Ruth." I respect him so much because he is doing both things he wants to do. Thank you for listening.

(こんにちは。稲岡健です。今日は私が尊敬する人、大谷翔平についてお話します。彼は日本人のプロ野球選手で、現在メジャーリーグでプレーしています。驚くべきことに、投手と打者を両立でプレーしています。彼は「日本のペーブ・ルース」とさえ呼ばれています。私は大谷選手が自分がやりたいことのどちらもやっている点をとても尊敬しています。ご清聴、ありがとうございました)

解説と指導編

③ 行ってみたい場所 (a place I want to visit)

例 1) マチュピチュ

Hello. My name is Morita Saori. Today, I'm going to talk about a place I want to visit, Machu Picchu. I am interested in its history. It was built in the 15th century; however, it was hidden for about four hundred years. It is located on a very high mountain in Peru, so it is challenging to get there, but I want to visit Machu Picchu sometime in the future. Thank you for listening.

(こんにちは。森田沙織です。今日は私が行きたい場所、マチュピチュについてお話しします。私はその歴史に興味があります。マチュピチュは15世紀に築されましたが、その時から400百年ほどの間、隠されていました。そこはペルーの高山にあるので、行くのが大変ですが、私は将来のいつかマチュピチュを訪れたいです。ご清聴、ありがとうございます)

例 2) 月

Hello. My name is Matsuura Sota. Today, I'm going to talk about a place I want to visit, the moon. I believe ordinary people will be able to go to the moon in the near future. I think it will be wonderful when we can walk on the moon. There is no air and water there, but I want to try to jump and see how fast I can run there! That's why I want to visit the moon. Thank you for listening.

(こんにちは。松浦蒼汰です。今日は僕が行きたい場所、月についてお話しします。近い未来、普通の人々も月に行けるようになると信じています。月面を歩いたら素晴らしいと思います。月には空気や水がありませんが、ジャンプしたり、どれだけ早く走れるか試してみたいです。だから僕は月に行きたいです。ご清聴、ありがとうございます)

例 3) 屋久島

Hello. My name is Kubo Miho. Today, I will talk about a place I want to visit, Yakushima. The animation film "Princess Mononoke" was inspired by the natural scenery of Yakushima. Yakushima is called a natural paradise. Yakusugi, one of the largest cedars in the world is famous and visitors can enjoy trekking through the beautiful scenery of Yakushima. Someday I want to visit Yakushima and enjoy hiking there. Thank you for listening.

(こんにちは。久保美穂です。今日は私が訪りたい場所、屋久島についてお話しします。アニメ映画の『もののけ姫』は屋久島の自然の風景に着想を得ています。屋久島は自然の楽園と呼ばれています。世界で最大の杉の1つである屋久杉が有名で、旅行者は屋久島の美しい風景を楽しみながらトレッキングを楽しめます。いつか私も屋久島に行き、徒歩旅行を楽しみたいです。ご清聴、ありがとうございます)

【指導上のポイント】

USE (教科書 p.18) で学習した、(1)スピーチの構成に留意しながら、(2)スピーチに必要な表現を積極的に使うよう指導したい。いずれのトピックにおいても、その理由(そのきっかけになるような出来事や経験があったのか、高校でどんなことをやってみたくて考えているかなど)を述べることで、説得力を持たせることが肝要である。

スピーチの長さは、生徒の習熟度を考慮して設定すればよい。また、スピーチはペアやグループで練習し、お互いにコメントし合って、さらにリライトして完成させ、それを何も見ずに録音して提出させるなど、工夫したい。

評価のポイントは、以下の例を参考にされたい。点数化する場合は、レベルをそのままスコアとして累計してもよいし、例えば、内容・構成に重点を置く場合は、②のスコアを2倍にするなど観点ごとの比重を変えてもよいだろう。コメント欄には、よかった点(これからも続けてほしいこと)や改善したい点(こうすればもっとよくなるというアドバイス)を指摘するとよいだろう。

| | レベル 1 | レベル 2 | レベル 3 |
|---------|---------------------------------------|--|---|
| ① 音声 | 誤った発音やリズム・イントネーションが不自然で、全体として聞き取りにくい。 | やや発音が不正確であった、リズム・イントネーションが不自然であったりするが、概ね良好である。 | 発音も正確で、リズム・イントネーションもよく、声の大きさも適切で、聞き取りやすい。 |
| ② 内容・構成 | スピーチの基本構成に則っておらず、主張やその理由が不明瞭である。 | スピーチの基本構成に則り、順序立てて話が展開しており、主張やその理由が概ね適切に表現されている。 | スピーチの基本構成に則り、順序立てて話が展開しており、主張が明確で、その理由も適切かつ十分な内容が表現されている。 |
| ③ 語彙・文法 | 語彙や表現、文法にかなり誤りや不適切な箇所があり、理解に支障がある。 | 語彙や表現、文法に若干の誤りや不適切な箇所があるが、概ね理解できる。 | 語彙や表現、文法に全く、またはほとんど誤りがなく、よく理解できる。 |
| ④ コメント | | | |

●Reflection

【ねらい】

この課での活動などを振り返って、①～③のそれぞれの観点別に3段階〔王冠 (crown) を塗る〕で自己評価させる。ここでは厳密な評価が目的ではないので、「聞き手に分かりやすいように、大きな声で話すよう心掛けたが、あまり流暢に話せなかったなので、もう少しスピードを上げては話せるようにしたい」とか「覚えた英語を発表するのに必死だったので、聞き手の顔を見て、落ち着いて語り掛けるように話せるようにしたい」など目標を立てて、今後の学習意欲の喚起となるようにしたい。